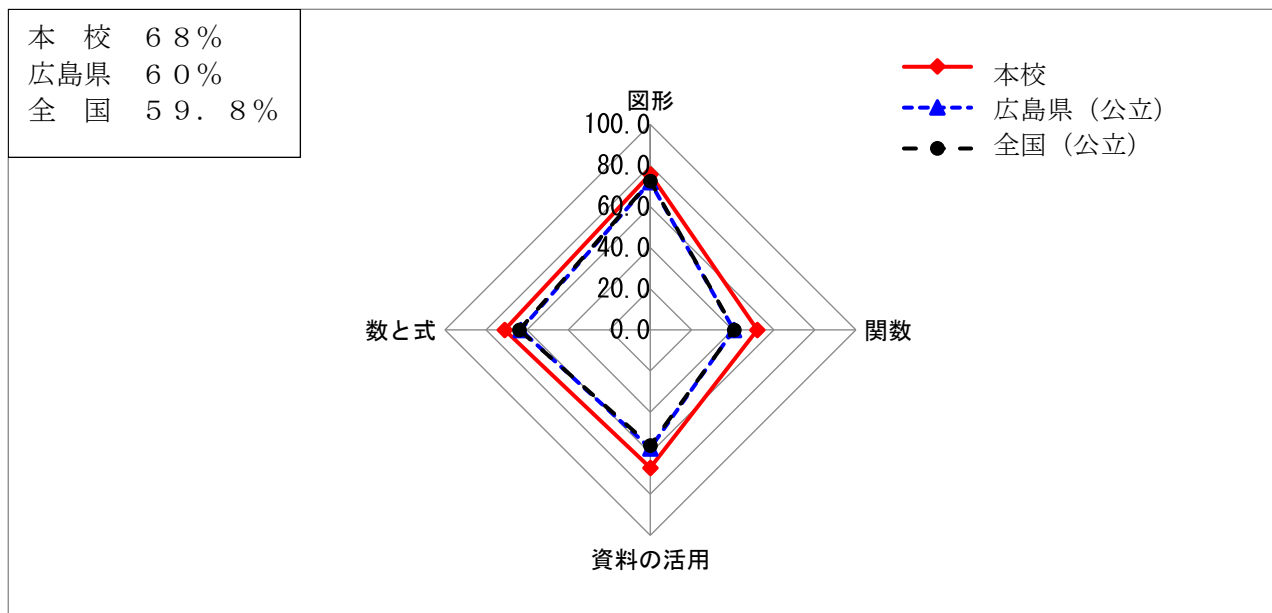


# 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について【数学】

## <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



### 重点課題

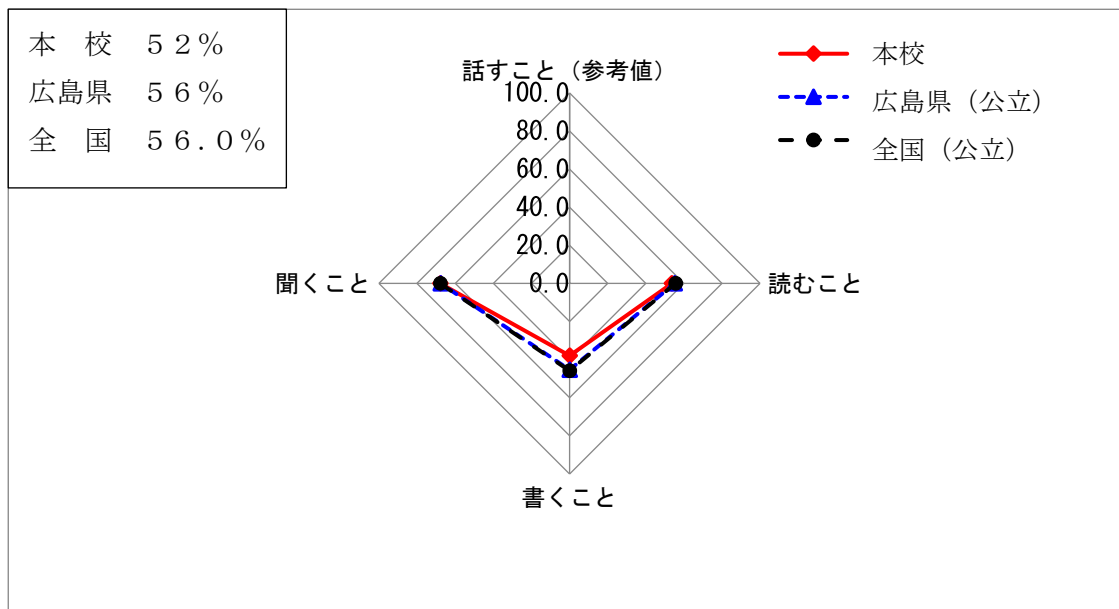
- ・「グラフ上の2点の座標の差を事象に即して解釈する」ことが適切にできていない。(通過率 44.9%)
- ・「平行移動」の意味(全国通過率 83.6%に対して本校 80.6%), 「反例」の意味(全国通過率 77.2%に対して本校 75.5%)を正しく理解できていない。

### 重点課題に対する指導方法等の改善

- ・ 表などで与えられた情報をもとにグラフに表し，グラフを事象に即して解釈する等の活動を関数の学習の中で積極的に取り入れ，自分の言葉で事象を説明したり，問題解決する場を設けたりして，定着を図る。
- ・ 基礎的・基本的な数学用語を授業の中で適切に用いるとともに，その数学用語を問題解決の方法の説明場面で適切に使わせる。

# 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について【英語】

## <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



### 重点課題

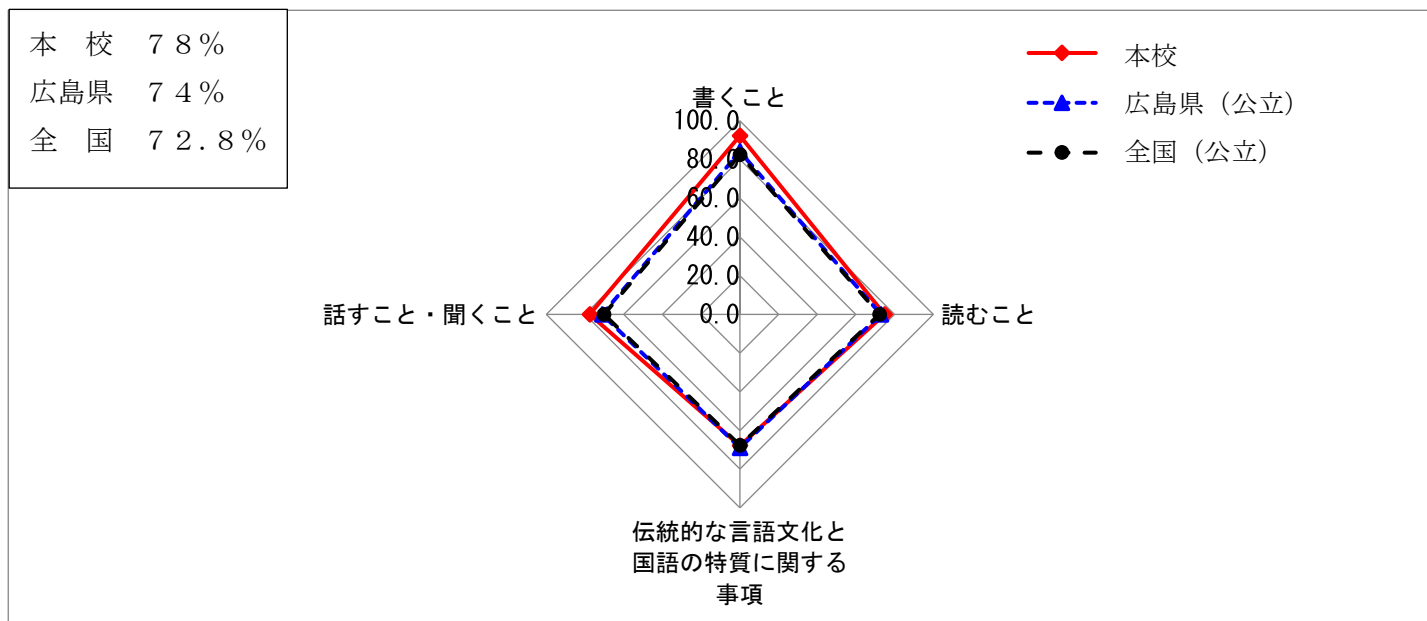
- ・「聞いて把握した内容について、適切に応じる」ことが適切にできていない。(通過率 3.1%)
- ・「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く」ことが適切にできていない。(通過率 1.0%)

### 重点課題に対する指導方法等の改善

- ・ 事実やテーマから想起される自分の考えや気持ちなどを整理したメモや説明ツールを基にして書き始めることに慣れさせるとともに、教科書の本文を使って文章の構成の特徴を意識させたい。また、接続詞や副詞、代名詞などを用いる「言い換えの手法」などを各単元において学習し、定着を図る。

# 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について【国語】

## <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



### 重点課題

- ・「封筒の書き方を理解して書く」ことが適切にできていない。(正答率 52.0%)
- ・「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」ことが適切にできていない。(通過率 62.2%)

### 重点課題に対する指導方法等の改善

- ・手紙の基本的な形式に基づき、文字の大きさや配列に注意して丁寧に書くよう指導し、社会生活に役立つ書写の能力を育む。
- ・論説文の中心的な部分を捉えたうえで、事実と意見を読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりする練習をくり返し行い、定着を図る。